

令和4年度第2学期終業式 校長講話

2022年は残すところ、あと8日となりました。2学期は、振徳祭体育の部・文化の部と2年生の修学旅行を実施できたことを嬉しく思っています。また、台湾の稲江高級商業職業学校とのオンライン交流は稲江の生徒さんや先生方に大変喜んでいただくとともに、台湾の報道機関が交流の様子をネットで紹介していました。

昨日は、延期していたクラスマッチを生徒会役員が中心となり、全校生徒の協力のもと無事に実施できました。各種大会の他、インターンシップや福祉科の施設実習等、徐々にですが、いろいろな取組が元に戻りつつある中、新型コロナウイルス感染症の第8波が第7波を超える勢いで拡大しています。

巷では各自が感染防止対策を講じながら通常の経済活動を行うことになっていきますので、皆さんもマスク着用、手洗いや手指消毒、人混みの長時間滞在を避ける等、感染対策を意識した行動を心がけてください。

ところで、本校はアメリカ合衆国の高校「Brien McMahon high School - Center for Global Studies」(CGS)と令和元年度に姉妹校になりました。それ以前にもCGSの生徒さんが本校を訪問されたようですが、姉妹校になった直後にコロナ禍の影響で交流ができなくなりました。

しかし、「年が明けた2月に修学旅行で日南振徳高校を訪問したい」という依頼が届きました。今、PTA役員会を通してホームステイの受入れ家庭を募集しています。アメリカに友だちをつくりたい人は保護者の方に相談してみてください。ちなみに男子生徒4名、女子生徒6名が来校予定です。

本題です。年末になると物価が上がりますが、今年は全国的に卵や国産鶏肉(こくさんとりにく)の値段が上がっています。鳥インフルエンザが多発している影響です。ブロイラー生産日本一の宮崎県でも2例発生しました。昨年1学期終業式の時にも話しましたが、私はこの学校に赴任する前は農政水産部の職員でしたので、令和2年12月から令和3年1月にかけて発生した鳥インフルエンザの殺処分作業に4回参加しました。上からの命令ですので、拒否することはできません。

この作業に従事しているの大半の人は役所に勤務している公務員で、発生場所や規模に応じて農協職員や自衛隊、建設業者等が加わります。現場へは貸切りバスで移動しますので、集合から解散までだいたい12時間以上拘束されます。その間に支給される食料は弁当1個とペットボトルのお茶、スポーツドリンクです。間食に菓子パンやコーヒーが支給されることもあります。そういうところは少ないです。

そのような中、皆さん、作業中はもちろんですが、集合から解散までほぼ無言で、現場を仕切る獣医師や畜産専門職員の指示に従っててきぱき行動されていました。誰一人文句一つ言わずに作業をするので「さすが公務員だな」と感心しました。

鳥インフルエンザが発生すると県の農政水産部が農林水産省に状況を報告し、発生規模に応じて「何時間以内に殺処分の作業を終えなさい」という命令が下ります。そのため、作業しながらコツを掴み、効率を上げるために、一度割り当てられた役割を交代することはできません。

私は一度、分厚いマスクをしたまま、立ったり座ったりの動作が必要な最も厳しと言われる作業を1時間継続しなければならない役割に当たりましたが、同じ作業をしている人が黙々とやっていたので文句は言えませんでした。ちなみに1グループは2班に分かれ、1時間作業をすると別の班に引き継いで、次は1時間後に作業を再開するという1分も作業が中断させない体制になっています。

また、同じ職場で夕方から現場へ行き、翌日の朝に現場から戻ってくる人もいましたが、作業が終わると出勤してきて仕事をしていましたので、体力だけではなく責任感も強いなと思っていました。年末なのに本当に気の毒ですが、こういう陰の力があって私たちの食が守られていることを忘れてはならないと思っています。

話は変わりますが、先日、JR日南駅の清掃ボランティアにたくさん生徒が参加してくれました。高橋市長様が会長を務められている「日南市公共交通機関利用友の会」が毎年この時期に実施していますが、地域の行事に生徒の皆さんが参加することは、地域と学校の間一体感ができますので、地域から応援されることにつながります。ボランティアや市が主催する集会等には積極的な参加をお願いします。

その一方で、登下校中の自転車の乗り方や帰宅途中の過ごし方について、学校へ苦情がたくさん届きました。「良い行いは砂に書かれ、悪い行いは石に刻まれる」と言われます。良いことは浜辺の砂に書いたようにすぐに消えてなくなりますが、悪いことは石に刻まれた文字のようにいつまでも消えないという意味です。

しかし、日本には節目を大切に作る習慣があります。心の底から今年一年のケガレを落としてケジメを付け、新しい年からしっかりと行動を改めれば、石に刻まれた過去の悪い行いを許してもらえるかも知れません。「マナーの振徳」というキャッチフレーズに相応しい学校づくり、孟子の言葉「振徳」の名前に恥じない学校づくりは、生徒一人一人の品位ある行動にかかっていることを自覚してください。

それと同時に、これから始まる冬休みの行動には十分気をつけてください。悪い誘いには乗らないよう、また、調子に乗ってやってはいけないことをせず、その行動の先には何があるのか考えた上で、周囲の人を悲しませるようなことがないように、楽しい、年末年始を送ってください。

最後になりますが、12月25日は宮崎県知事選挙の投票日です。選挙権のある人は棄権しないでください。「25日は遊びに行く予定がある」という人も、遊びに行くことを理由に期日前投票ができます。河野俊嗣候補、東国原英夫候補、スーパークレイジー君候補の3名が立候補しています。有権者としての責任を果たすようよろしくお願いします。

以上で、校長講話を終わります。

令和4年12月23日
県立日南振徳高等学校
校長 山下 勉